



めいわ

11月の目標

生活：身なりをきちんとしよう
保健：トイレ・手洗い場をきれいにしよう

<https://www.keinet.com/meiwas/>

TEL：281-2724

令和4年 11月号

児童数 390人

言葉は意識を変え、意識は行動を変え、行動は結果を変える!

校長 井上 貴文

冒頭の言葉は、現在、東北福祉大学特任教授で、元古川商業高校（現古川学園高校）バレーボール部監督の国分秀男先生の言葉です。国分先生は、大学卒業後、京浜女子商業（現白鵬女子高校）でチーム作りを学び、5年後いよいよ古川商業高校へ転動しようとするときに、同僚で全国トップクラスの卓球部を育てていた近藤欽治先生に「あなたには日本一は無理だと思うよ。」と言われたそうです。さらには「あなたは心が温かくて一生懸命だからきっといい先生になる。でも、あなたの言葉には夢がない、力がない、迫力がない。謙虚、控え目はいいが消極的だ。」と。国分先生は、近藤先生の言葉を素直に受け止め、別れ際「頑張れよ。」といえど済むところをあえて憎まれ役を買って出て自分に足りない部分を教えてくださったのだと考えたそうです。そして、古川商業高校の歓迎の宴席で「わたしは日本一のバレーボールチームを作るためにこの学校に来ました。」と宣言したのだそうです。その後、地区大会も勝てなかったチームが全国大会で度々優勝する強豪校へと成長し、国分先生自身も全国大会優勝回数で史上最多記録を保持しています。もし、その宴席であの言葉が言えなかったら全国大会で1、2回優勝するのがやっとだっただろうと述べています。



さて、11月6日（日）に第49回大運動会を実施しました。コロナ禍で迎える3回目の運動会でした。昨年度より一歩でも前に進めたい。そう思いながらも、子供たちのために運動会をどうすればいいのか悩みました。昨年度と同じように・・・一瞬、頭をよぎりました。種目を制限しているが十分に競技を楽しんで運動量も確保できているのか・・・本当に子供たちが充実感をもって思い出に残る運動会になっているのか・・・

本番では、子供たちの種目を全部実施することができました。子供たちの笑顔あふれる運動会となったことをたいへんうれしく思います。実施して、これまで長年にわたって積み重ねてきた物の重さ、2年間できなかつたことの重さをひしひしと感ずることとなりました。今年も午前中で運動会を終える小学校が多い中、「昨年度より一歩進んだ運動会を実施しよう」という提案に、工夫・改善しながら指導に当たってきた職員、趣旨を理解し応援の入れ替わりや昼食のことなどにご協力いただいた保護者の皆様方に改めて感謝申し上げます。これからも「ど真ん中に子供がいる」学校経営を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



開会式「誓いのことば」



1年「玉入れ」



2年「折り返しリレー」



3年「明和タイフーン」



4年「心ひとつに輝け」



5年「THE大玉」



6年「明和おはら節」



閉会式「参加賞授与」